

『東京で座禅体験したよ』

〜 東京都台東区へ児童10人を派遣 〜

平成24年11月23日から25日までの3日間、町内の小学6年生10人が東京都台東区などへの派遣事業に参加しました。

この事業は、町内の児童が日常生活では経験できない都会でのさまざまな体験活動などを通じて、集団行動による社会性と自主性を養い、次代を担う夢と希望のある児童を育成することを目的とするもの。鹿追町子ども宿泊体験交流協議会（会長・吉田弘志町長）が今年度初めて実施しました。同協議会では、来年度以降も実施時期や研修内容を検討しながら、さらには台東区内の児童との交流事業ができるように今後も調整を続けていきます。



都内移動（東京モノレール）

1日目（23日） 東京スカイツリーから都内を一望

期待に胸を弾ませた派遣児童10人が町民ホールに集合しました。出発式では小林潤教育長が「東京ではしっかりと行動し、さまざまな体験をしてください」と激励。派遣児童を代表して道見美緒さんが抱負を述べました。

児童らは、搭乗手続きや保安検査などに戸惑いながらも、とち帯広空港から空路東京へ。到着後、込み合う電車での移動に苦労しましたが、初日の研修先は児童が一番楽しみにしていた東京スカイツリー。地上450メートルの展望デッキから日中と夜景の両方を一望することができました。



東京スカイツリー展望台

2日目（24日） 下町・浅草などで自主研修

この日はA・Bグループに分かれての1日研修で、あらかじめ研修場所などを児童が話し合い決めたもの。Aグループは、まず「雷門・浅草寺」の浅草方面へ。雷門をくぐり浅草寺までの仲見世通りでは、1店舗ずつお土産を物色した後、午後から上野方面へ向かい国立科学博物館、上野動物園などを研修しました。



浅草寺の香炉（Aグループ）

一方、Bグループは「おぼけ階段」を見た後、浅草方面へ。連休中とあって昼には仲見世通りと周辺は観光客で大賑わいでしたが、計画どおり研修を実施することができました。



浅草寺の雷門（Bグループ）

また、この日は鎌倉時代に創建された都内有数の古寺である天王寺で宿泊。寺では副住職から「略食作法について」のお話や布団の準備や食事の後片付けなど生活体験をしました。夕食後には全員で近くの銭湯へ。入浴マナーを事前に研修し、自宅とは違う公衆浴場での入浴を体験しました。



天王寺に宿泊・座禅体験

3日目（25日） 座禅体験し帰路へ

最終日は、起床後に本堂で座禅体験からスタート。はじめに住職から「この寺の歴史は時の政治と深い関係がある」とのお話をいただいた後、座禅時の姿勢や呼吸方法などの説明と約15分間の座禅を体験しました。羽田空港から鹿追町への帰路について一行は、保護者や学校関係者の方々が待つ町民ホールへ到着。解散式では副代表の菊池愛奈さんが派遣事業での感想を述べ、3日間の派遣事業を終了しました。

「ものづくり活動」と「研修会・講習会などの開催」を支援します

鹿追町地域力創造事業費助成制度

この助成制度は、「地域ブランドの発掘と育成」を念頭に、民間による独自性のある「ものづくり活動事業」および自主的・主体的な地域づくり活動として行う「研修会・講習会などの事業」に対し、町が助成を行うものです。

■対象事業

- ① 特産品等開発ものづくり事業
鹿追町に住所を有する個人および団体が、おおむね次の事業を主宰し実践する場合に、助成対象となります。
- ② 講師、アドバイザー等招聘事業
地域的、社会的、行政的課題、あるいは町（地域）づくりに寄与するための研修会、講演会などを外部からの講師、アドバイザーなどを招聘し実施。

■助成内容

- 助成内容**
- ① 特産品等開発ものづくり事業
事業費の3分の2以内、30万円が限度
 - ② 講師、アドバイザー等招聘事業
講師謝金 = 3万円が限度
講師交通費 = 10万円が限度
講師宿泊費 = 1万円が限度

■助成期限

平成25年3月31日まで

■助成申請

助成を受けるためには、事前に事業計画書などの提出が必要です。提出していただいた事業計画書により助成の可否を決定し、その後、補助金交付申請、事業実績報告などの手続きがあります。

【申請・問い合わせ先】

企画財政課 企画開発係
☎(66)4032 FAX(66)1020

※助成は単年度とし、助成対象に通常の運営経費は含まれません。

